

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）※重症心身障害含む

○事業所名	児童支援事業所ぷらみんぼーと（児童発達支援）※重症心身障害含む		
○保護者評価実施期間	令和7年10月20日		令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	566名	(回答者数) 111名
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日		令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 31名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かした支援	各専門職が専門性を活かして支援にあたり、他の専門職にも助言を行っている	より専門性の高い支援が提供できるよう研修参加や事例検討を重ね、質の向上を図っていく
2	多職種による連携した支援	療育開始から終了まで、多職種が情報共有、意見交換しながら支援にあたっている	専門性を活かした支援が継続できるよう、より連携を密にとり支援を行っていく
3	保護者のニーズに沿った相談体制	お子さんや保護者の相談内容により、より適した職種が相談援助を行っている	多角的、長期的な視点を持ち、ニーズに沿った相談の場が提供できるよう、職員間での連携を図っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の対応についての周知不足	お子さんや保護者に参加していただく機会が無い	避難訓練実施時間の見直し、避難訓練の実施風景や避難経路を動画や写真で保護者に提示するなど、体験や周知の機会を設ける
2	保護者同士の交流の場が少ない	保護者同士の交流を目的としたイベントを設けていない	保護者が参加しやすいイベントの開催を検討していく
3	ホームページでの情報発信	ホームページやSNS等を活用できていない	ホームページの更新頻度、掲示内容の検討など見直しを図り、必要な情報を配信できるようにする